

有床義歯学会（JPDA） 事前抄録投稿票

定例会での発表については発表内容を演者、参加者ともに明確に把握する目的で事前抄録を作成するものとする。定例会開催時までにウェブサイトあるいは冊子にて公開し閲覧できる状態とする。

***事前抄録の詳細な記載方法や利益相反に関する資料は有床義歯学会ホームページを参照すること。**

ふりがな 氏名		ローマ字表記
所属 (医院・技工所・ 大学・医局など)		
連絡先	〒 TEL: — — FAX: — — E-mail:	
倫理規定と 利益相反 (COI)	<input type="checkbox"/> 発表内容は、医の倫理、研究倫理に反せず、被検者あるいは患者の同意を得ている。 <input type="checkbox"/> COI 自己申告書を提出し、発表スライドに明記している。	

演題名	
事前抄録 (600字以内) *詳細は有床義歯学会誌 投稿規定(加筆第七版) を参照	

*事前抄録は「目的」「材料および方法・症例の概要」「結果」「考察」「結論」などを簡潔に記載

◎ 「1 症例の報告」などの事前抄録例

【目的】、【結果】および【まとめ】は不要です。【症例の概要】、【治療経過】、【考察】、【結論】は必ず記載してください。必要に応じて【緒言】や【治療方針】を記載してください。

ものとする。定例会開催時までにはウェブサイトあるいは冊子にて公開し閲覧できる状態とする。

***事前抄録の詳細な記載方法や利益相反に関する資料は有床義歯学会ホームページを参照すること。**

ふりがな 氏名	あだち りゅうほ 安達 隆帆	ローマ字表記 ADACHI Ryuuhō
所属 (医院・技工所・ 大学・医局など)	安達歯科医院	
	〒〇〇 山形県〇〇 TEL: 〇〇 — 〇〇 — 〇〇 FAX: 〇〇 — 〇〇 — 〇〇 E-mail: 〇〇@〇〇	
倫理規定と 利益相反 (COI)	<input checked="" type="checkbox"/> 発表内容は、医の倫理、研究倫理に反せず、被検者あるいは患者の同意を得ている。 <input checked="" type="checkbox"/> COI 自己申告書を提出し、発表スライドに明記	
演題名	下顎前方位を伴う ClassⅢ無歯顎症例	
事前抄録 (600 字以内) *詳細は有床義歯学会誌 投稿規定 (加筆第七版) を参照	<p>【緒言】本症例では、骨格的に ClassⅢと思われる無歯顎症例に下顎前方位が加わり、不良な対顎関係が増悪していた。術前、術中に下顎前方位を改善できるかどうかを診査し、印象法、人工歯排列に注意して新義歯を作製したことで良好な結果を得たので報告する。</p> <p>【症例の概要】83 歳、男性。主訴：何度か入れ歯を作り直したが痛みがとれない。所見：上顎の顎堤条件は良好だが、下顎の顎堤条件は不良であり、装着していた義歯において上下ともに維持安定は得られていなかった。習慣性咬合位は前方位となっており、ClassⅢの対顎関係は増悪していた。</p> <p>【治療方針・治療経過】術前診査としてチンポイント変法、術中診査として GoA 描記法を用いることで前方位を改善できるかを診査し、アドバンスな吸着印象法を行い、大臼歯部人工歯を交叉咬合に排列して義歯を製作した。装着後半年経過しているが術後経過は良好である。</p> <p>【考察】総義歯症例における下顎前方位は義歯のずれ込みなどによる痛みを誘発するだけでなく、対顎関係をも増悪させる。半年経過では下顎の前方移動は起こっていないが今後、生体が前後的な下顎位の安定を求めて、上下前歯が接触する位置まで下顎体の前方移動を引き起こすことや、人工歯の摩耗によって義歯床自体が前方移動する可能性がある。定期的なメンテナンスにて注意深く経過を観察し、必要があれば咬合調整を行い、摩耗が顕著に進めば人工歯交換も検討しなければならないと考える。</p>	

倫理規定と利益相反を
確認のうえチェック

「、。」ではなく、「,。」
(カンマとピリオド)で記載

*事前抄録は「目的」「材料および方法・症例の概要」「結果」「考察」「結論」などを簡潔に記載

【緒言】などを含み
600文字以内で記載